

〈3〉声楽について

声楽の試験曲に取り組むときは、まず自分がどんな内容の「詩」を歌うのか「詩」をじっくりと読みましょう。ただ言葉を記号のように音符にのせて声を出すのではなく、作詞者や作曲者はその曲で何を伝えようとしたのか、自分はどのようにその想いを歌唱で伝えることが出来るかを考えてふさわしい表現方法を見つけましょう。正しい発声や豊かな音楽性を身につけることはたやすい

〈4〉小論文について(時間：80分 字数制限なし)

小論文では与えられたテーマ(出題例参照)について自分なりに考え、それを文章にまとめることが必要です。ふだんから、音楽や音楽教育の諸問題とその背景にある社会や文化に関心を持って積極的に本や新聞を読むことを心がけてください。また歌唱や楽器演奏、さまざまな音楽の鑑賞に取り組んで、音楽体験を豊かに

ことではありませんが、時間をかけて自分なりの表現を繰り返し考えていくことで身につけてきます。

試験曲の自由曲には歌曲やオペラアリア、そしてミュージカル曲と幅広く選んでいただけるようになっています。その中から今の自分が一番表現しやすい選曲をしてください。

することも大切です。そして、出題例を参考にさまざまなテーマで文章を書いてみましょう。多くの文章を書くうちに、どうすれば自分の考えをうまくまとめることができるのか、どのように書けば自分の考えをうまく他者に伝えることができるのか、ということがわかってきます。

(平成30年度出題例)

- ・音楽「を」教育することと、音楽「で」教育することの意味の違いについて、具体例を挙げながらあなたの考えを述べなさい。(字数は特に制限しません。)
- ・インターネット動画サイトの利点と問題点について述べなさい。
- ・中学校の音楽の教科書には、歌唱共通教材と呼ばれるどの教科書にも載っている歌があり、多くの生徒たちが授業で習い、長い間世代を超えて歌われている歌があります。このような親から子、孫へと歌い継いでいくような歌は必要だと思いますか？あなたの考えを述べなさい。